

～ 夏期講座のお知らせ ～

シュタイナー教育の授業は、それ自体が子ども達にとって芸術体験でなければならないといわれています。葉山シュタイナーこどもの家 小中学生クラス アプフェルバウムでは、普段、オイリュトミーと音楽(ライアー、コロイフルート)と手仕事の授業を通し、子ども達の心身の成長にあった教育芸術を行っています。そして、夏休みには、夏期講座として算数のエポック授業を開催しています。知識を学ぶのではなく、学ぶ喜びを体験する授業。去年の夏も子どもたちが生き生きと、また真剣に講座を受講していました。ご興味のある方は是非、ご参加ください。

講座日時：

2021年8月21日(土)～24日(火)の4日間(小学1・2年生・6年生・中学1年生)

8月21日(土)～23日(月)の3日間(中学2・3年生)

8月21日(土) 22日(日) 24日(火)の3日間(小学3～5年生)

講座会場：黒門カルチャーくらぶ(逗子市新宿1-4-7)

対象：小学1年生～中学3年生

定員：各クラス12名程(クラス編成未定)

講座参加費：12,000～15,000円程度(参加人数、日数によって変動あり)。材料、教材費は別途。

講師：近藤^{こんどう} 嘉宏^{よしひろ}先生

大学の建築学科で学んでいる時、シュタイナー教育と出会い1986年渡独。シュタイナー教員養成学校クラス担任コース・上級生数学物理コースを修了。その後、シュタイナー学校にて長期実習などをし、約6年の留学を終え帰国。現在、名古屋、岐阜、静岡を中心に子どものための水彩画、フォルメン線画、算数などの教育と大人のための講座を行っている。

授業内容：1年生：「数や数字との出会い」 2年生：「九九の美」 3年生：「算数のカードマジック」
4年生：「フォルメン」 5年生：「フリーハンド幾何学」 6年生・中学1年生：「幾何学」
中学2～3年生：「立体幾何学」

時間割(予定)：	1年生	9：30～10：30(60分)	23日のみ14：10～15：10(60分)
	2年生	10：50～11：50(60分)	23日のみ15：30～16：30(60分)
	3年生	12：50～13：50(60分)	
	4年生	14：10～15：10(60分)	
	5年生	15：30～16：30(60分)	
	6年生・中学1年生	16：50～17：50(60分)	24日のみ17：00～18：00(60分)
	中学2～3年生	18：10～19：10(60分)	

*本年度のクラス編成、時間割などはお申し込みの人数によって、大きく変わる可能性もあります。
持ち物等含め詳細はお申し込み受付け後、決まり次第お知らせ致しますので、ご了承ください。

2021年夏期講座のお申し込みの際には、以下の内容をメールにてご連絡ください。7月25日〆切です。

- ・参加者の氏名、フリガナ、学年
- ・保護者名
- ・電話番号

☆お問い合わせ・申し込み

Pirkal107@gmail.com Tel.080-6670-2272(照井)

※最低実施人数 各クラス5名予定/お申込締切り7月25日を過ぎた段階で
ご相談させていただきます。

定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
3日以内に返信がない場合は、お問合せ願います。

～ 保護者向け講演会のお知らせ ～

2019年度に大変ご好評頂きました保護者向け講演会を、今年ほうみのこびと園舎にて2部制でお届けします。久しぶりの開催となります。是非ご参加ください。

講座日時：2021年8月23日(月) 「1部 算数を学ぶこと」9:00～10:20 「2部 経済学について」10:40～12:00

講演会場：うみのこびと園舎（三浦郡葉山町堀内 878-3）

対象：保護者のみ

定員：各クラス15名程 ※参加メンバーによって内容を変える場合もございます。

講演会参加費：1部2部 各2,000円(両方受講の場合3,000円)

講師：近藤 嘉宏先生

講演会案内文

《算数を学ぶこと》

シュタイナーは、教科によって、学ぶに相応しい時期があると伝えていますが、算数・数学と音楽は1年から12年生(高校3年生)まで通して教えるよう勧めています。算数・数学は、身体、心、精神全てに働きかけることのできる教科であると捉えられます。算数を学ぶことで、何を育てようとしているのか、そういった教育的意味を取り上げながら、シュタイナー教育での教え方、心身の成長と算数との関わりなどについて体験をふまえながらお話しします。

講座での主な内容

- ・ 幼児期の準備 ... 算数・数学的な体験
- ・ 算数を学ぶのに相応しい身体・心の条件
- ・ 児童期 ... 数や計算との出会い
- ・ 算数につまずいた時に親として確認すること
- ・ 算数・数学と身体・心・精神との関わり

《経済学について》

現代、お金を中心に成り立っている社会、その中で、私たちは、お金を求め、お金に苦しめられ、お金で楽しむ、そんなお金の左右される日々を送っているともいえます。

人間が作り出したお金は、確かに便利であり、社会を保つための重要な要素の一つです。

しかし、その反面、今の人間の人生を支配しているとも考えられます。

お金とはいったいどのような存在なのでしょう。

そして、子ども達に、お金の存在をどのように伝え、関わるように育てたらいいのでしょうか。

シュタイナーは、このお金と関わる経済学を12才・13才の頃に教えるように提案しました。

現代の人間の根本的課題、経済について考える力、欲望を強める悪的な力への関わりなど、様々な配慮し授業がなされます。

そうした授業内容を紹介しながら以下のような視点でお話をいたします。

- ・ お金の成り立ち・・・人の心の成長と欲望
- ・ 健全な価格・・・健全な人との関わり
- ・ お金の三つの側面・・・心の三つの成長段階
- ・ 子どものお小遣いの考え方、アドバイス

2021年保護者向け講演会お申し込みの際には、夏期講習申し込み時に、以下の内容を追加ください。

1部参加 or 2部参加 or 両方参加